

編集委員会便り

本特集号の「スーパーエネルギーテクノロジー」という耳慣れない言葉に、一般の科学雑誌に取り上げるような夢の部分を大きく膨らませた特集内容を想像された方が多いと思われます。この言葉は、当編集委員会による造語であり、地球にやさしい新エネルギー源および未来のエネルギー変換技術を含むエネルギーテクノロジーを指しております。

編集委員会での活発な議論の中から、各論のテーマ候補が多数提案されました。対象とする分野が広範囲にわたっており、これら全てが興味あるテーマでしたが、掲載可能なページ数に制約があり、その中から核融合、超伝導、宇宙、生体エネルギーなどの7つに絞られました。執筆された内容は、将来の可能性を論じたものであり、既に確立したものは避けております。一部は近い将来に実現化され、その他は21世紀には出現するものと思われます。スーパーエネルギーテクノ

ロジーが、現在かかえているエネルギー・環境問題の解決の糸口となり、未来のエネルギーテクノロジーとなることを願っております。

当初、スーパーエネルギーテクノロジーの定義が各委員の間で異なっていたので議論が発散し、収束が困難な状況が続きました。また、前述のように対象とする分野が広いために執筆者の選考が難航しましたが、編集委員全員の協力で、専門家の先生方に執筆をお願いすることができました。その結果、充実した内容を提供することができ、読者の期待に添うことができるとされます。なお、今回取り上げるのでできなかった各論のテーマの候補は、別の機会に特集を組んでみたいと思います。

中本 充 慶

(松下電器産業(株)住環境システム研究所 工博)

